

高校生のためのオープンカレッジ in 郡上 2011.10.29

大学で学ぶことは何なの？ 大学の先に、社会や地域で何が待っているの！ 学生や市民も参加…



高校生の発表



大学生、高校生のまちあるき（共に2010年の多治見市）

高校生の皆さんは、受験・進学に向かって、どのような大学や学部で学びたいのか、いろいろと考えていると思います。岐阜経済大学・岐阜大学・岐阜市立女子短期大学が共同で開催するこのオープンカレッジは、こんなことを皆さんに伝えます。

■多彩な分野から学べる：経済学・経営学、まちづくり・自治・環境・文化・社会、デザイン・ファッション

ファッション、まちづくり、などのテーマを取り上げて、いろいろな分野からの見方とその違い、討論などを通じて、高校までとは違う大学での学び方について、実際に体験してもらいたいと思っています。

■大学から、就職、社会や地域に開かれていくために

大学で学んだその先には何があるのか想像してみませんか。企業や市民の方々、若者のUターンや定着などを図ろうとしている行政とも連携して、郡上市で地域に開かれたオープンカレッジを行います。

10時～11時

□郡上学を学び、地域で生きる（松田之利・東海学院大学学長）

11時～12時

□高校生と大学生の交流 三大学の学生、郡上高校のOB/OGを交えたトーク

13時～15時

■4つの教室に分かれてのミニ講義

・勝田美穂（岐阜経済大学・経済学部）「公共政策のすすめ」

公共性とはどのようなものなのでしょうか。ある人にとって公共的なものが、ある人にとっては公共的でないということになる。

ここでは公共性をめぐる不可思議な世界に案内しつつ、「問題を社会で解決すること」について学びます。

・大野貴司（岐阜経済大学・経営学部）「地域とスポーツ」

この講義では、JリーグNo.1の人気を誇る浦和レッズの経営と地域密着への取り組みの検討から、みなさんとスポーツが持つ地域活性化への可能性について考えていこうと思います。これを機会にみなさんが住んでいる岐阜と岐阜のスポーツについて考えてみましょう。

・小野廣紀（岐阜市立女子短期大学・食物栄養学科）「地域と食」

郡上地域に産する材料を活かした食を、歴史や地域性から具体例を交えて考察する講義です。

みなさんの身近にある野に咲く草や花などからもどんな食材や薬が生まれるか考えてみましょう。

・三崎和志（岐阜大学地域科学部・哲学）「sex と gender」

同性愛に対する考えを出発点として、自分たちの性や愛に対する意識を見つめ直すこと、

そしてこれまでよりも多面的なものを見方ができるようになればいいと思います。

□郡上八幡のフィールドワーク まちなか歩きとマップづくりのワークショップ（柳田良造・岐女短、富樫幸一・岐阜大）

会場は郡上高等学校です。

連絡などは、岐阜大学地域科学部 〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1

代表：TEL 058-293-3002 FAX 058-293-3008 chiiki@gifu-u.ac.jp